

会 告 (II)

第 3 回 日本鉄鋼協会 九州支部合同講演会開催御案内 日本金属学会

この度日本金属学会創立 20 周年記念をかねて下記により地方講演会を開催致しますので御参集下さい。

日 時 昭和 32 年 7 月 11 日 (木) 9°30'~15°25'

場 所 於 八幡市枝光八幡製鉄所技術研究所講演室

主 題 アイソトープの金属への利用

	時 間		
開 会 の 辞	(9°30~ 9°35)	日本金属学会九州支部長	谷村 瀬君
1. Ca ⁴⁵ による黒鉛球状化の研究	(9°35~10°00)	九大工学部助教授	松田 公扶君
2. アイソトープによる銻鋼弁のラジオグラフィーについて	(10°05~10°30)	岡野バルブ門司工場技師	山崎 裕君
3. アイソトープを用いた金属の洗滌試験	(10°35~11°00)	東洋鋼鉄下松工場研究所員	宮本 安君
4. ラジオオートグラフィーによる金属の研究	(11°05~12°00)	東大生産技術研究所助教授	加藤 正夫君
中 食			
5. Co ⁶⁰ の現地使用実績	(13°00~13°25)	三菱長崎造船所造機検査課技師	寺井 公一君
6. β線厚み計について	(13°30~13°55)	東洋鋼鉄下松工場製造部長付	竹本 国一君
7. アイソトープによる煉瓦の研究	(14°00~14°25)	黒崎窯業研究所第二課長	開田 丈夫君
8. RI 追跡法による鋼塊中の非金属介在物の成因に関する研究	(14°30~15°30)	東北大学選鉱製煉所教授	斎藤 恒三君
閉 会 の 辞	(15°30~15°35)	日本鉄鋼協会九州支部長	湯川 正夫君

見 学 会 7 月 12 日 (金) 9°00~12°00……映画および戸畑ストリップ工場
集 会 場 所 9°00 迄技術研究所講演室

※なお講演会当日東芝放射線会社その他の展示品ある予定

申 込 締 切 7 月 5 日必着 ハガキにて申込み下さい。

中 食 費 100 円 但し 7 月 11 日の中食希望者のみ。

(準備の都合上申込の時、要否御記入下さい。なお代金は当日会場受付にてお払込み下さい)

申 込 先 八幡市枝光八幡製鉄所技術研究所内 日本鉄鋼協会九州支部宛

アヘマ第 12 回化学工業博覧会および化学技術会議

アヘマ (Achema) はドイツ化学機械協会 (Deutsche Gesellschaft für Chemisches Apparatewesen = Dechema) とヨーロッパ化学技術連盟との共催により、3 年毎に開かれる化学工業博覧会および化学技術会議で、その重要性は既に各国から十分に認められている。前回は 1955 年フランクフルト・アム・マイン (Frankfurt am Main) で開催され、53 カ国から 12,150 人の専門家と 28 カ国から 11,300 人の学生が参加した。次回は明年 (1958 年) 5 月 31 日から 6 月 8 日まで同じくフランクフルト・アム・マインで開催の予定で、日本から本会議への参加を歓迎する旨 Dechema から案内がありましたので会員各位に御通知致します。(なお詳細事項は本年 8 月発行の同プログラムに記載して送達する旨申し添えてあります)